

新明小だより

東松山市立新明小学校
学 校 だ よ り
7 月 号
令和8年6月18日



学校教育目標 まなぶ・つながる・やりぬく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

梅雨空が続く季節となりました。子どもたちは雨の合間を見つけて元気に校庭で遊んでいます。雨の日は少し憂うつな気持ちになることもありますが、私は「雨が降るからこそ見られるもの」があると思っています。先日の全校集会では、私が小学生の頃に出会った「虹」の思い出を交えながら話をしました。



～ 雨のあとには 虹がかかる ～ 7月お話集会より

梅雨の季節になりました。雨の日が続くと、何となく気持ちも晴れないことがあります。しかし、この時期だからこそ出会える美しいものがあります。それが「虹」です。虹は、太陽の光が空気中の水滴に当たり、光が七色に分かれて見えることで現れます。実は虹は半円ではなく、本当は大きな円の形をしているそうです。私たちは、地上から見ているため、下半分が隠れて半円に見えているのです。

また、虹は「太陽を背にして見る」という条件がそろわないと見ることはできません。雨が降ったから見えるのではなく、雨上がりに太陽が顔を出して初めて現れるのです。

私は小学生の頃、少年野球をしていました。ある大会で、自分のミスが原因で試合に負けてしまったことがあります。悔しさと申し訳なさでいっぱいになり、トボトボとうつむきながら帰っていました。

その日は雨が降ったりやんだりしていましたが、ふと空を見上げると、空には大きな大きな虹がかかっていました。

その虹を見た瞬間、不思議と気持ちが軽くなりました。「失敗したことは変えられないけれど、また頑張ればいい。」そんな前向きな気持ちになったことを、今でも覚えています。

皆さんも、勉強や運動、友達との関わりの中で、思うようにいかないことや失敗することがあるかもしれません。しかし、雨の後に虹が現れるように、苦しい出来事や悔しい経験の後は、必ず成長の機会が待っています。

大切なのは、失敗しないことではなく、その経験から何を学び、次へ進むかです。

梅雨空の続く毎日ですが、困難を乗り越えた後に、希望や成長があることを信じてください。雨の後に虹が現れるように、皆さんの努力の先にも、きっと素晴らしい景色が待っています。安心して前進しましょう！

【 校長室の窓より ～体力テスト～ 】

体力テストを10日、11日の両日に実施しました。短距離走や持久走をはじめ、反復横跳びや立ち幅跳び、握力測定など、さまざまな種目に挑戦しました。2年生以上の児童は、県の平均記録を参考にしながら、昨年度の自分の記録更新を目標に取り組みました。

「やったー！」「記録が伸びた！」と満面の笑顔で喜ぶ姿に、私も思わず目を細めました。子供たちには、練習や挑戦を重ねる中で自分の成長を実感し、その経験が大きな自信につながってほしいと願っています。